

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業
-------------------	---------------------------------

区分	番号	名 称						
章	6	担いあうまちづくり						
節	1	協働のまちづくりの推進						
施策	2	まちづくり活動の推進						
小分類	1	多彩なまちづくり活動の支援						
主要な施策	2	コミュニティ活動の支援						
事務事業番号	006	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事務事業コード</td> <td>61212006</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業開始年度</td> <td>平成 1 7 年度</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	61212006	事業開始年度	平成 1 7 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	61212006	事業開始年度	平成 1 7 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費
------	------	------------	---------------------

部 名	都市整備部	グループ名	管理 G
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 市民(グループ)・企業・各種団体と協働で、きれいなまちづくりを推進することを目的とする。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 公共施設(道路・公園・広場・河川)を養子に見立てて、市民や企業が里親(アダプト)となって公共施設の清掃美化を行い、市は市民・企業の清掃美化活動を支援する。活動団体に対し、市の責務として活動に必要な用具等の支給、賠償損害保険の加入 アダプトサインの設置などの支援を行う。参加団体 H23: 36 団体 572 名
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 市、市民、企業が協力して身近な公共施設の草刈や清掃、花壇の手入れ等を実施し整備することにより生活環境が改善され、きれいなまちづくりを推進する。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業実施要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標	
成果 指標		参加団体数	団体	目標値	40	45	50	55	60
			実績値	36	/	/	/	/	
			団体	目標値					
			実績値		/	/	/	/	

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	359	349	340	340	340	1,020
合 計				359	349	340	340	340	1,020
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円		1,227			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		0	1,227			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
事業実施要綱を定め、市民と協働で、きれいなまちづくりを推進することを目的としており、妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
清掃や草刈り・植樹柵の花壇整備等のボランティア活動により、効果が発揮されている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
広く市民にPR活動等を行い、事業への参加を働きかけ、事業の推進に努める。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
事業の推進を図ることを必要としており、参加団体の増加に伴い、活動を支援する費用が必要となる。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市と市民との協働による、きれいなまちづくりを推進し、効果が発揮されている。
-----------	----------------------	---------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）